



イタリア・ブラス界のドリームチーム

# ゴマラン・ブラス

# Gomalan Brass Quintet

日伊国交樹立  
150周年記念

### 【主な予定曲目】

- オペラ「トゥーランドット」より  
“誰も寝てはならぬ”（プッチーニ）
- オペラ「アイダ」より  
“凱旋行進曲”（ヴェルディ）
- G線上のアリア（バッハ）
- 5声のカンツォーナ（ガブリエーリ）
- 映画「スター・ウォーズ」より  
“メイン・タイトル”（ジョン・ウィリアムズ）
- 映画「ニュー・シネマ・パラダイス」より  
“愛のテーマ”（E.モリコーネ/A.モリコーネ）
- ルパン三世のテーマ（大野雄二） 他

※予定曲目は変更になる場合がございます。  
あらかじめご了承ください。

## 「磨き上げられたテクニックと無尽にわき出る 音楽的才能を持つ、全く素晴らしいアンサンブル！」

——ズービン・メータ

### 公演日程(2016年)

- 12月2日(金) 7:00p.m. 富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ
- 12月11日(日) 2:00p.m. 君津市民文化ホール
- 12月15日(木) 6:30p.m. 小田原市民会館
- 12月16日(金) 7:00p.m. 習志野文化ホール

入場料金: S席5,300円 A席4,800円 B席4,300円(税込)

- 12月7日(水) 7:00p.m. 横浜みなとみらいホール 大ホール
- 12月9日(金) 7:00p.m. 所沢ミューズ・アークホール

入場料金: S席5,300円 A席4,800円(税込)

- 12月8日(木) 7:00p.m. 東京芸術劇場 コンサートホール
- 12月13日(水) 7:00p.m. 文京シビックホール 大ホール
- 12月14日(火) 7:00p.m. 千葉県文化会館

入場料金: S席5,300円 A席4,800円(税込)

### チケットのお求めは:

チケットぴあ 0570(02)9999[Pコード:307-698]  
 イープラス <http://eplus.jp/> (パソコン&ケータイ)  
 ローソンチケット 0570(084)003[Lコード:34184]  
 キラリ☆ふじみ 049(268)7788(窓口販売のみ) [12/2公演]  
 君津市民文化ホール 0439(55)3300 [12/11公演]  
 小田原市民会館 0465(22)7146 [12/15公演]  
 習志野文化ホール 047(479)1212 [12/16公演]  
 横浜みなとみらいホールチケットセンター 045(682)2000 [12/7公演]  
 ミューズチケットカウンター 04(2998)7777(窓口販売のみ) [12/9公演]  
 東京芸術劇場ボックスオフィス  
 0570(010)296(10:00~19:00 ※休館日を除く) [12/8公演]  
 千葉県文化会館 043(222)0201 [12/14公演]  
 公演のお問い合わせ MIN-ONインフォメーションセンター ☎03(3226)9999  
 ※未就学児童のご入場は固くお断りいたします。  
 主催: MIN-ON、(公財)君津市文化振興財団 [12/11公演]  
 後援: イタリア文化会館

9/16(金)  
発売開始!

民音WEBクラブ  
[www.min-on.or.jp/webclub/](http://www.min-on.or.jp/webclub/)  
 会員募集中! (特典あり)  
 携帯サイトはこちらから▶



# 「イタリアの 鬼才達がやってくる！」

私がゴマラン・プラスを知ったのはもう十数年前となる。当時流通していた国際管楽器専門誌等に彼らの国際コンクール優勝の記事を目にした時のリーダーであるトランペット奏者のマルコ・ピエロボン氏の印象と、古くからの友人である元チューバのメンバーであるアレックスサンドロ・フォッシ氏（現ポローニヤ歌劇場チューバ奏者）が映っていた印象が強く残る。当時、私の師であるロジャー・ボボ先生が書いた彼らを例にしたエッセイも印象深かった。

そして私がゴマラン・プラスと出会ったのは2012年。当時、彼らは最大のピンチを迎えていた。2011年に予定していたツアーは東日本大震災後という事もあり、イタリア政府から日本渡航を禁じられ、更に新たな政策として「国立歌劇場に在籍する者はシーズン中、他団体での勤務を一切禁ずる」という話が出たのだ。多忙を極めていたゴマラン・プラスにとってみれば死活問題であったに違いない。その問題の真っ最中、既に日本ツアーが決定しており、歌劇場に所属するメンバーのうち3名がツアーキャンセルを余儀なくされ、2名のイタリア人と私が日本ツアーの代役を務めさせていただく事となった。

ツアー中、彼らは疲れというものを知らなかった。日本に到着早々6時間のリハーサル。プログラムはイタリアの曲を中心に組まれていたのだが、彼らの「血」や「匂い」を目の当たりにし、私はまるで「自分はイタリアにいるのではないか？」と錯覚を覚えたのを鮮明に覚えている。古典から近代音楽、裏付けの取れた楽曲分析、驚異的にレンジの広いダイナミクス、十分に響いた甘いサウンドと超絶技巧、プラスの王道とエンターテインメント他、彼らは全てにおいて超越していた。

現在、厄介な政策は大半改善され、今秋は4年振りに彼らの芸術を大いに堪能出来るであろう。是非とも貴方の耳でそのイタリアの「血」と「匂い」を感じてほしい。

最後に、ゴマラン・プラスの2016年ツアーの成功をお祈り申し上げます。

シンガポール交響楽団  
首席チューバ奏者 藤田英大

## ゴマラン・プラス Gomalan Brass Quintet

イタリアを代表する金管奏者により1999年結成。当初からプラス界の著名人に賞賛の声を浴び、2001年ドイツのパスサウ管楽器国際コンクールで見事優勝。一躍世界的ブラス・アンサンブルのひとつとして名実ともに認められ、巨匠 ズーピン・メータをして「磨き上げられたテクニックと無尽にわき出る音楽的才能を持つ、全く素晴らしいアンサンブル！」と絶賛せしめるに至った。現在、メンバーはミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団、ローマ聖チェチーリア音楽院管弦楽団、ローマ・イタリア放送交響楽団、シカゴ交響楽団など名門オーケストラのブラス・プレイヤーとして活躍している。

## マルコ・ピエロボン(トランペット)

Marco Pierobon



フィレンツェ五月音楽祭管弦楽団(99-02年メータ指揮)、ローマ聖チェチーリア音楽院管弦楽団(03-08年パッパーノ指揮)の第1トランペット奏者を長年務める。シカゴ交響楽団(バレンボイム指揮)、ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団とも第1トランペット奏者として共演。イギリス室内管弦楽団ともソリストとして共演を果たした。

## ニロ・カラクリスティ(ホルン)

Nilo Caracristi



ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ劇場管弦楽団、ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団にてホルン奏者を務め、シノーポリやメータなどの名指揮者と共演。現在、ゴマラン・プラスで活躍すると共に、トリエステ・ヴェルディ劇場管弦楽団の第1ホルン奏者を務める。

## マルコ・ブライト(トランペット)

Marco Braitto



ボルツァーノ音楽院卒。トランペット・ソリストとして、ローマ・シンフォニー管弦楽団、RAI国立交響楽団等と共演。タングルウッド・インスティテュート、トロント大学などでマスタークラスのための教鞭をとる。ゴマラン・プラスには2001年に参加。

## ステファノ・アンマンナーティ(チューバ)

Stefano Ammannati



ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団、ローマ聖チェチーリア音楽院管弦楽団、フェニーチェ歌劇場、トリノ王立歌劇場などの歌劇場、楽団に出演。2007年には、ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団によるシャイー演出の「Giacomo Puccini Act III」コンサートを録音。

## ジャンルカ・スキピオーニ(トロンボーン)

Gianluca Scipioni



ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団、ローマ聖チェチーリア音楽院管弦楽団の第1トロンボーン奏者を長年務めた。現在、トリノ王立歌劇場の第1トロンボーン奏者を務める。